

ヒト由来トロンビン、再組換え

Cat. No. NATE-0702

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 トロンビンは、ヒトではF2遺伝子によってコードされるセリンプロテアーゼです。プロトロンビン（凝固因子II）は、凝固カスケードにおいてプロテオリティックに切断されてトロンビンを形成し、最終的には出血の減少をもたらします。トロンビンは、可溶性フィブリノーゲンを不溶性のフィブリンの繊維に \square 換するセリンプロテアーゼとして作用し、さらに多くの凝固関連反 \square を触媒します。

用途 トロンビンは、アフィニティタグを除去するためのアクセス可能なトロンビン認識部位を含む再組換え融合タンパク質の部位特異的切断に使用されます。トロンビンは、フランスの凍結乾燥血漿のin vitro止血特性を評価する研究に使用されました。

別名 トロンビン; EC 3.4.21.5; フィブリノーゲナーゼ; トロンパース; トロンボフォート; トピカル; トロンビン-C; トロポスタチン; 活性化血液凝固因子II; 血液凝固因子IIa; 因子IIa; Eトロンビン; β -トロンビン; γ -トロンビン

製品情報

種	人間
由来	HEK 293細胞
形態	水溶液; 20 mM MES、pH 6.0、500 mM コリン塩化物の溶液として供給されます
EC番号	EC 3.4.21.5
CAS登録番号	9002-04-4
純度	> 95% (SDS-PAGE)
代謝経路	アンジオポエチン受容体Tie2を介したシグナル伝達、特定の生物系; 血液凝固カスケード、特定の生物系; 血管壁での細胞表面相互作用、特定の生物系; クラスA/1（ロドプシン \square 受容体）、特定の生物系; 共通経路、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系; 補体および凝固カスケード、特定の生物系
機能	カルシウムイオン結合; 成長因子活性; ペプチダーゼ活性; タンパク質結合; 受容体結合; 受容体結合に寄与; セリン型エンドペプチダーゼ活性; トロンボスポンジン受容体活性

保管・発送情報

保存方法 -70°C